

## 鼻咽腔細菌叢評価に及ぼす抗菌薬の影響の網羅的遺伝子解析と抗菌薬適正使用の検討

平岡政信<sup>1) 2)</sup> 保富宗城<sup>1)</sup> 山中昇<sup>1)</sup>

1) 和歌山県立医科大学 耳鼻咽喉科

2) 国保日高総合病院 耳鼻咽喉科

小児急性中耳炎における難治化・遷延化のリスクファクターとして、抗菌薬の累積投与が指摘されている。micに基づいた抗菌薬適正使用は起炎菌抑制をもたらすが、同時に常在菌量も減少させるため、菌群の相互干渉作用による増殖抑制効果も減弱してしまう。本研究では、サンガー法に基づいたクローンライブラリ法を用い、鼻咽腔細菌叢のDNAを網羅的に検索することで、従来の培養検査では検出できなかった、菌叢全体の変化と、抗菌薬投与による影響を評価する。

抗菌薬投与後の菌叢正常化機構を解明することで、いかに抗菌薬を投与するかではなく、いかに休薬期間を設定するかのエビデンス収集を目指す。